



Chiba Kogyo Bank

REPORT 2015

ミニ・ディスクロージャー誌
平成27年3月期 営業のご報告



千葉興業銀行

目次 Contents

ごあいさつ・中期経営計画の概要 — 1
業績のご報告(単体) — 3

地域とともに

地域密着型金融の推進への取組み — 7

お客さまのために

商品・サービスのご案内 — 11
より便利で安全なちば興銀へ — 13
さらにご利用いただきやすい店舗へ — 15

「親切」の心で

CSRの取組み 地域社会・地域経済への貢献 - 17

財務諸表(単体) — 19
財務諸表(連結) — 20
役員・株式の状況 — 21

プロフィール Profile

名称
株式会社千葉興業銀行
[英文表示] The Chiba Kogyo Bank, Ltd.

本店所在地
千葉市美浜区幸町二丁目1番2号

設立年月日
昭和27年1月

資本金
579億4,189万3,949円

店舗数
72店舗(県内71店舗、都内1店舗)

従業員数
1,271名

(平成27年3月31日現在)



[ちば興銀は、次世代認定
マークを取得しています。]

ごあいさつ

平素より、千葉興業銀行をお引き立て賜り、誠にありがとうございます。

平成26年度の当行の経営内容や業績、CSRの取組み等につきまして、ミニ・ディスクロージャー誌にまとめました。ご高覧いただければ幸いに存じます。

平成26年度における千葉県経済は、企業部門に改善が見られ、倒産件数が低い水準を維持し、雇用情勢も改善傾向が続くなど、緩やかな回復基調となりました。

このような金融経済環境のもと、当行は平成25年度から3か年にわたる

中期経営計画「変革・成長戦略“2nd Stage”」に取組み、各種施策を積極的に展開してまいりました。この結果、経常利益が過去最高益となるなど良好な業績をおさめることができました。これもひとえに、お取引先・株主・地域の皆さまからのご愛顧によるものと心から感謝申し上げます。

当行が営業基盤とする千葉県は、5年後に東京オリンピックも控え、一層の成長が見込める肥沃なマーケットであります。当行は皆さまとともに千葉県経済の力強い成長に向けて、地域金融機関としての責務を果たすべくさまざまな取組みを行ってまいります。

平成27年度は現中期経営計画の最終年度となります。引き続き当行は、「地域の お客さまの ベスト・コンサルタント」となるべく、さらには「選ばれ続け、地域・お客さまになくてはならない絶対的存在感のある銀行」をめざし、当行グループの総力を結集して業務に邁進していく所存です。

今後とも、より一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成27年6月

取締役頭取・CEO 青柳 俊一

中期経営計画の概要

企業理念

地域とともに
お客さまのために
「親切」の心で

選ばれ続け、地域・お客さまに
なくてはならない絶対的存在感のある銀行

地域の お客さまの ベスト・コンサルタント

顧客ロイヤルティ向上

平成25-27年度
「変革・成長戦略“2nd Stage”」

“コア顧客を支柱とした
顧客基盤の再構築”

効率性・
生産性
革新

収益力・
収益構造
革新

組織力・
人材
革新

財務基盤の強化 リスク・マネジメント強化

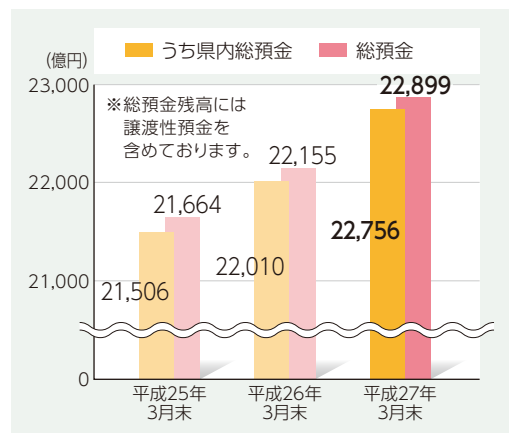


平成27年3月期の業績につきましては、預金・貸出金が順調に増加し、投資信託や保険商品の販売も好調に推移しました。また、お取引先の経営改善が進み、与信関係費用が縮小したことなどから、経常利益・当期純利益ともに増益となりました。経常利益につきましては過去最高益を計上しております。

(注) 当行は主要な営業地域を千葉県内としておりますので、千葉県内の営業店舗の合計計数を「県内」計数として表示しております。

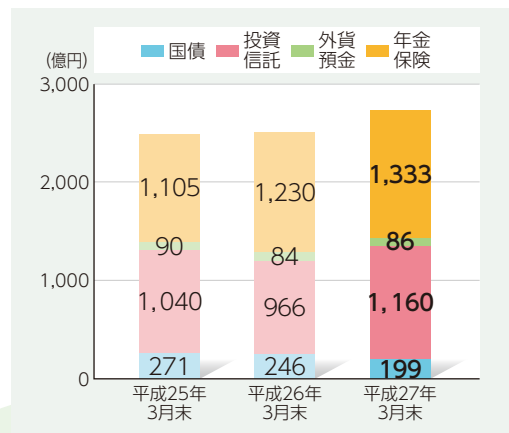
総預金残高

総預金残高は、個人預金の増加などから前期比744億円増加し、2兆2,899億円となりました。



預り資産

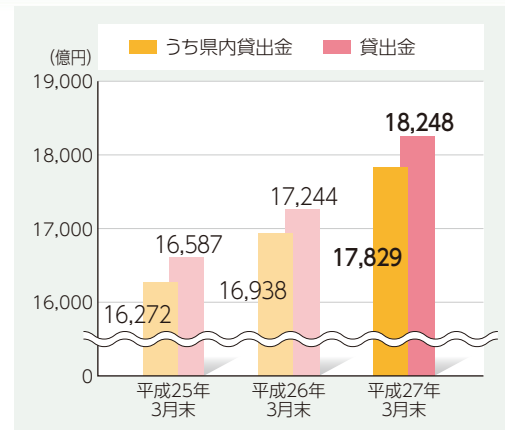
投資信託は、前期比193億円増加の1,160億円、年金保険は、102億円増加の1,333億円となりました。



グラフ等に記載の計数および解説文中の計数は単位未満切捨て表示となっております。

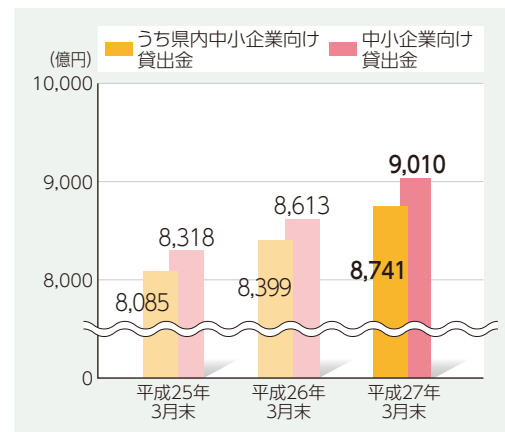
貸出金残高

貸出金残高は、地域のお客さまの資金ニーズに積極的にお応えした結果、前期比1,003億円と大幅に増加し、1兆8,248億円となりました。



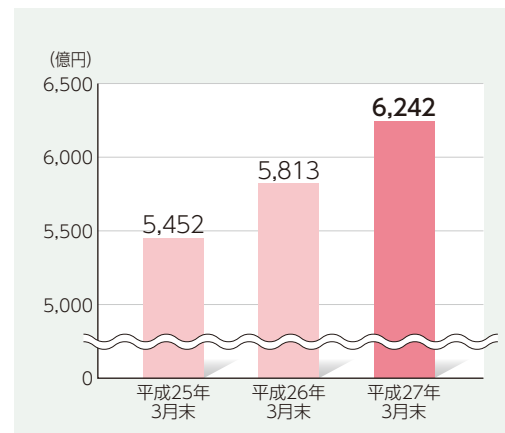
中小企業向け貸出金残高

中小企業向け貸出金残高は、前期比397億円増加し、9,010億円となりました。



住宅ローン残高

住宅ローン残高は、住宅販売会社との連携強化等により、前期比428億円増加し、6,242億円となりました。



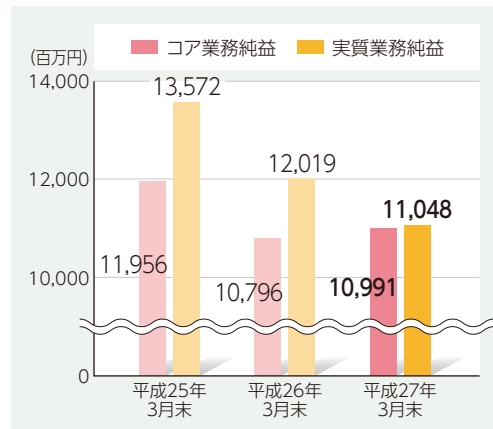
コア業務純益・実質業務純益

コア業務純益は、前期比1億94百万円増加し、109億91百万円となりました。

実質業務純益(一般貸倒引当金繰入前の業務純益)は、経費の増加などから前期比9億70百万円減少し、110億48百万円となりました。

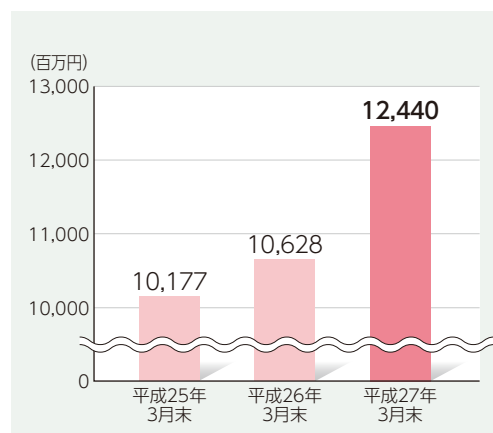
コア業務純益

$$\begin{array}{rcl} \text{コア} & & \text{一般貸倒} \\ \text{業務} & = & \text{引当金} \\ \text{純益} & = & \text{繰入額} \\ & & - \text{国債等債券} \\ & & \text{関係損益} \end{array}$$



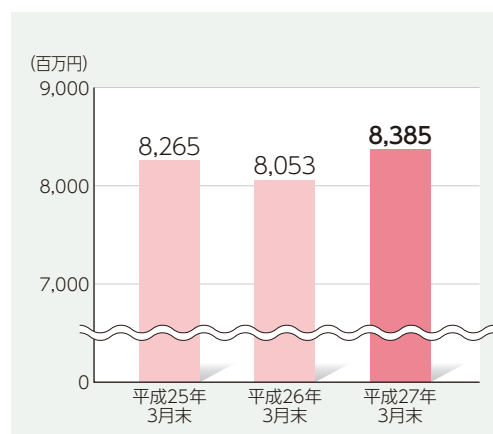
経常利益

経常利益は、前期比18億12百万円増加し、過去最高の124億40百万円となりました。



当期純利益

当期純利益は、前期比3億32百万円増加し、83億85百万円となりました。



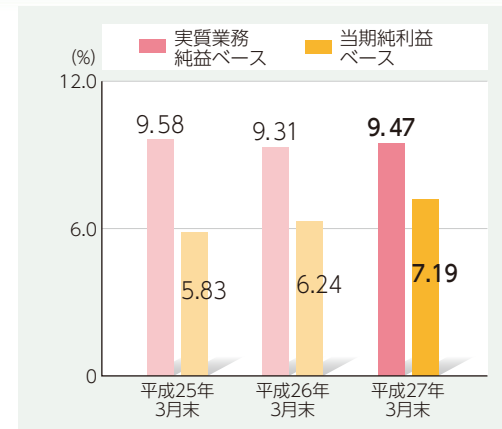
ROE(株主資本利益率)

実質業務純益ベースでは、前期比0.15ポイント上昇の9.47%、当期純利益ベースでは、前期比0.95ポイント上昇の7.19%となりました。

ROE(実質業務純益ベース、当期純利益ベース)

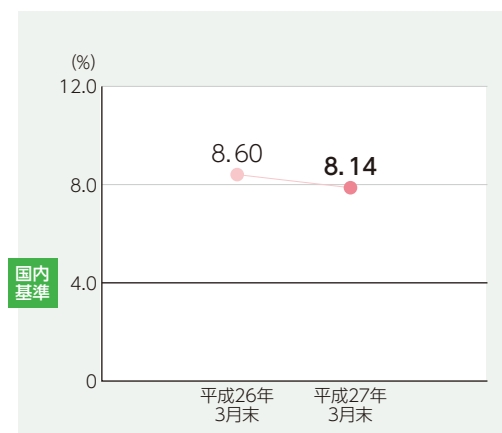
$$\text{ROE (株主資本利益率)} = \frac{\text{実質業務純益 (当期純利益)}}{\text{純資産の部合計 平残}} \times 100$$

値が大きいほど株主資本の「収益性」が高いことを示しています。



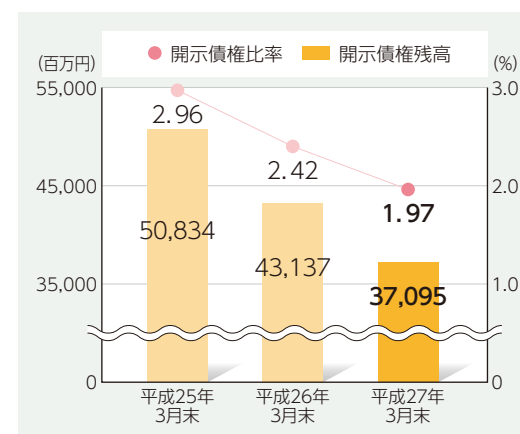
自己資本比率(バーゼルⅢ)

自己資本比率は、第一回第一種優先株式について平成26年9月12日に全株式を取得し、消却したことによる自己資本の額の減少(50億56百万円)等の結果、前期比0.46ポイント低下の8.14%となりました。



開示債権比率等(金融再生法基準)

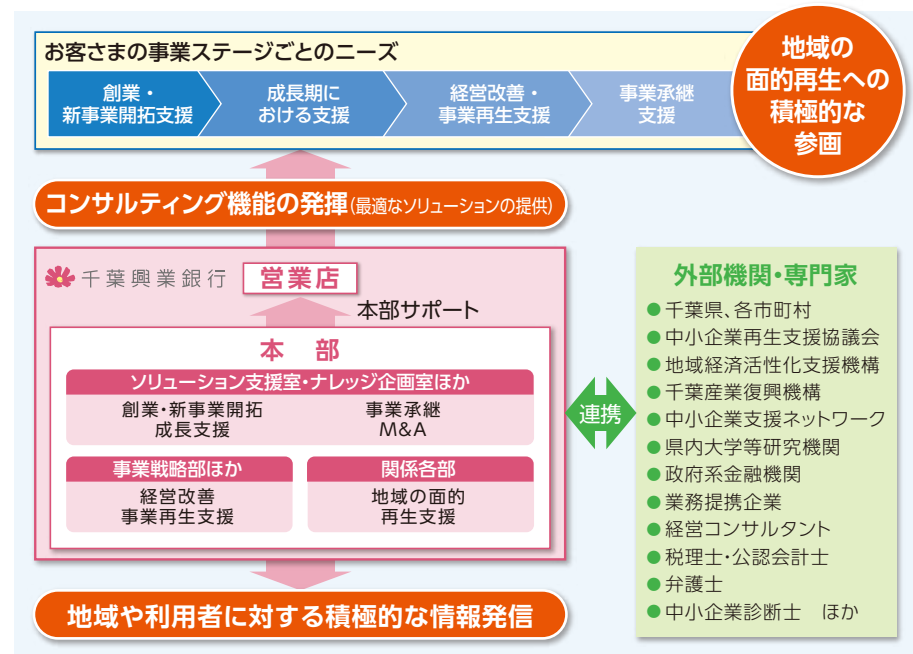
お取引先企業とのリレーション強化、経営課題解決への支援強化に取組んだ結果、金融再生法基準の開示債権比率は前期比0.45ポイント減少の1.97%、正常債権を除いた「開示債権」の当期末残高は、前期比60億円減少の370億円となりました。



地域密着型金融の推進への取組み

当行は、地域の中小企業・個人事業主、個人のお客さまの資金ニーズに積極的にお応えし、円滑な資金供給に努めるとともに、地域の中小企業等に対する経営支援や地域経済の活性化に積極的に貢献し、地域金融機関としての責務を果たしてまいります。

地域密着型金融の推進にあたり、①お取引先企業に対するコンサルティング機能の発揮、②地域の面的再生への積極的な参画、③地域や利用者に対する積極的な情報発信の取組みを中長期的な視点に立って全行的な取組みとして継続的に推進し、当行顧客基盤の拡大および収益力・財務健全性の向上につなげてまいります。



医療・介護分野への支援

医療・介護事業者の多いエリアの担当店に医療推進リーダー21名を配置したほか、医療系コンサルティング企業や医療分野に強い税理士法人と提携するなど、お取引先に対するコンサルティング機能の発揮に努めております。

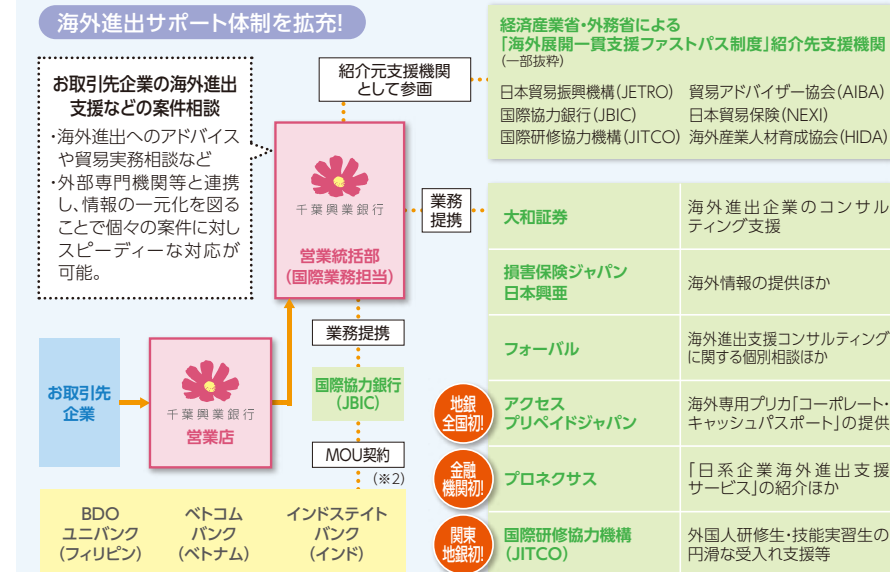
医療分野における人材育成にも力を入れており、「医療経営士」の資格取得に積極的に取組み、県内地銀では初となる「医療経営士1級^(※1)」合格者1名を含め、63名が有資格者となり、医療事業者の方からのご相談に対応しております。

(※1)「医療経営士1級」とは、医療経営に関する高度な専門知識と実践思考(手法)を有し、理事長・病院長とともに経営幹部として意思決定をサポート、実践できる「医療経営士」の最上位に位置する人材として評価・認定されるものです。

海外進出支援

外部機関との連携等により、東南アジア諸国(ASEAN)への進出や国際化支援を積極的に展開しております。

また、海外の投資環境に関する情報や、海外事業展開や販路拡大を検討している企業の皆さまに向けてビジネスセミナー等も開催しております。



平成26年8月には、経済成長著しい注目の「ベトナム」にスポットを当てた「ベトナム・ビジネスセミナー」を開催し、多くのお取引先企業にご参加いただきました。

(※2)MOU契約:Memorandum of Understanding (略称:MOU) 中堅・中小企業の海外進出支援に関する覚書



アグリフードビジネスへの支援

千葉県の主要産業である「農業」については専門の担当者を本部に配置し、公的助成を活用した新商品開発や販路開拓のご支援、農業法人の設立支援等農商工連携によるアグリフードビジネスの活性化に向けた取組みを行っております。

事業承継支援

平成26年4月より「事業承継」担当を本部に配置、県内オーナー企業の事業承継・M&A対策に積極的に取り組んでおります。

また、公益社団法人千葉県産業振興センターとの共催による事業承継セミナーや、専門機関と連携した取組みを行っております。

次世代経営者育成への取組み

ちば興銀「経営塾」の運営

ちば興銀「経営塾」は、地元企業育成支援・後継経営者育成支援の取組みのひとつとして平成16年9月に設立されました。幅広い視点で経営を捉えていただくための視察会やセミナーを定期的に開催しております。

これまでに200名を超える塾生に学びの場を提供しております。平成27年5月からは第6期生が活動を開始しております。



ベトナム投資環境調査を実施 ～ちば興銀「経営塾」10周年記念事業～

ちば興銀「経営塾」10周年記念事業として同塾の卒業生13名を中心に総勢16名の視察団を結成し、経済成長著しいベトナムの投資環境調査を実施しました。

首都ハノイでは当行が業務提携するベトナム銀行本店を訪問し、現地の金融事情や同行が提供する金融サービスを調査。ホーチミンでは参加者の関心が高い日系商業施設や工場団地の見学に加え、法人設立や投資ライセンス取得に関する具体的な内容まで調査を実施しました。



地域活性化に向けた取組み

マーくんバースデーナイトーpresented by ちば興銀

毎年行っているマッチデーとして、QVCマリンフィールドで「マーくんバースデーナイトー」を開催しました。ちば興銀ブースではサインボールなどが当たる巨大ガラポン抽選会を行ったほか、盛りだくさんのイベントを行いました。

千葉ロッテマリーンズ公式マスコット「マーくん」の誕生日プレゼントとして、青柳頭取よりメッセージフラッグと特大マーくん専用マイドリーム通帳が贈呈されました。当行は地元金融機関として、今後も千葉ロッテマリーンズを応援するとともに、千葉県の活性化に寄与するための活動を行ってまいります。



次世代育成への取組み

夏休み探検隊「サマーキッズスクール2014」開催

県内の小学5・6年生を対象にQVCマリンフィールドにて毎年実施している金融教育・しごと体験イベントで、今回で8回目の開催となります。

千葉商科大学教授、伊藤宏一先生を講師として、「お金って何?」をテーマに、お金の意味や使い道などについて学んだ後、当日のマリーンズ戦のプログラムを販売する「しごと」体験により「お金としごと」についての理解を深めていただきました。



「エコノミクス甲子園」千葉大会の開催

次世代を担う高校生への金融経済教育の普及を図るため実施している、全国高校生金融経済クイズ選手権「エコノミクス甲子園」の千葉大会（当行と千葉銀行の共催）を開催しました。

県内24チーム48名が参加し、渋谷教育学園幕張高等学校の2年生チームが見事全国大会の切符を手に入れました。

後援：千葉県・千葉県教育委員会・千葉県金融広報委員会



商品・サービスのご案内

マリーンズ応援団定期2015

～ちば興銀は今年も
千葉ロッテマリーンズを応援します!～

(お取扱期間:平成27年8月31日(月)まで)

当行は地元金融機関として、千葉ロッテマリーンズを応援しております。

千葉ロッテマリーンズの戦績によりお預け入れいただいた定期預金の金利が優遇される「マリーンズ応援団定期」は、千葉ロッテマリーンズを応援する多くのお客さまをはじめ、毎回大変ご好評をいただいております。今年で15回目の取扱いとなります。



お預入時に
+0.026%

インターネットバンキングでお預入れの場合

初回お預入時点で、お預入時のスーパー定期(お預入金額が300万円以上の場合)はスーパー定期300)の1年ものの店頭表示金利に、0.026%上乗せた金利を適用します。

*「マーくんビッグネームタグ」のプレゼントはございません。

ジャンボ宝くじ付定期預金

～お預入金額に合わせて
年末ジャンボ宝くじをプレゼント!～

(お取扱期間:平成27年8月31日(月)まで)

お預入金額100万円につき5枚の「年末ジャンボ宝くじ」を3年間にわたり贈呈します。

大変ご好評をいただいております。今回お預入れいただくお客さまには、お預入れから約半年後に「年末ジャンボ宝くじ」のお楽しみをお届けいたします。

贈呈する宝くじは、当行にて保護預りとしていただき、お客さまには宝くじの現物ではなく、宝くじ番号を記載した「番号通知ハガキ」をご郵送します。

当せんされた場合、当せん金はお客さまの口座に自動振込となりますので、宝くじの紛失の心配がございません。



コスモスクラブ ～うれしい特典がいっぱい!～

ちば興銀ポイント〈特典が受けられるまでの流れ〉

サービス「コスモスクラブ」は、当行との取引内容に応じて獲得したポイントによって、ATM・貸金庫の手数料や預金・ローンの金利優遇などの特典をご利用いただけます。

個人のお客さまならどなたでもご入会可能で、入会金・年会費は無料です。



ガン保障付住宅ローン

「ガンと診断されたら住宅ローン残高が0円」となるガン特約や「奥さま保障」もつけた充実の住宅ローンです。

11の安心保障付住宅ローン<ハートフル11>

3大疾病保障をはじめ、5つの重度慢性疾患保障、入院保障、リビングニーズ特約、配偶者のガン保障がついた、11の安心保障付住宅ローンです。

ちば興銀サポートローン

当行の住宅ローンをご利用いただいているお客さまを対象として、ご用途(マイカー、リフォーム、教育、フリー)に応じた「ちば興銀サポートローン」をご用意しております。

コスモスクラブのポイントステージに応じて、金利優遇などもございます。

当行は、今後も積極的に商品・サービスの拡充に取り組んでまいります。

※こちらのミニ・ディスクロージャー誌に掲載している商品概要・詳細については、店頭のパンフレット「商品概要説明書」または、当行ホームページ(<http://www.chibakogyo-bank.co.jp/>)をご覧ください。

より便利で安全なちば興銀へ

ちば興銀ダイレクト(個人向けインターネットバンキング)

全面リニューアル!

「ちば興銀ダイレクト」を全面リニューアルいたしました。

新たに通帳を発行しない「WEB通帳」(通帳不発行口座)を導入したほか、外貨預金や積立式定期預金の取引が可能となり、投資信託取引がスマートフォン専用画面からでもできるようになるなど多くの機能サービスを追加しております。あわせて画面デザインも一新し、より見やすく操作性が向上しております。



さらに当日入金取引可能時間を拡大!

平成27年5月18日から、ちば興銀ダイレクトを利用して千葉興業銀行本支店の普通預金口座にお振込をされる場合、原則24時間・365日「当日入金」となるお振扱いを開始いたしました。

平日0時～8時、15時～24時、休日(土日・祝日および銀行休業日)のお振込が当日入金可能となります。(インターネットバンキングの休止日・休止時間を除く)

お取扱時間		0:00～8:00	8:00～15:00	15:00～24:00
平日	変更前	当日予約扱い ^(※)	当日扱い	翌営業日予約扱い
	変更後	当日扱い		
土日祝日 (銀行休業日)	変更前	翌営業日予約扱い		
	変更後	当日扱い		

(※)当日予約扱い:8時以降に振込処理をいたしますので入金は8時以降

セキュリティ強化

お客さまの大切な預金をお守りし、安心・安全にご利用いただくために、当行では金融犯罪防止のさまざまな対策を行っております。

①リスクベース認証(追加認証登録)の導入

お客さまがインターネットバンキングにログインされる際のアクセス環境を分析し、普段利用されているパソコン等以外をご利用と判断した場合などで、お客さま本人の利用であることを確認するために「秘密の質問」「秘密の答え」により追加で認証を行います。

②振込限度額・税金・各種料金払込み限度額の引き下げ

ワンタイムパスワードのご利用がないお客さまの1日の振込限度額、税金・各種料金払込み限度額を300万円から50万円に引き下げます。(ワンタイムパスワードを新たに申請することで最大300万円までご利用可能です)

③取引通知メールの拡充

ログインした場合、登録のメールアドレスにメールを通知します。

「ワンタイムパスワード」とは

60秒ごとに変わる1回限りのパスワードでお客さまのスマートフォン・携帯電話だけに表示します。簡単操作でご利用可能。ご利用手数料は無料です。

※スマートフォン・携帯電話にワンタイムパスワードを生成するためのソフトウェア(トークン)のダウンロードが必要です。

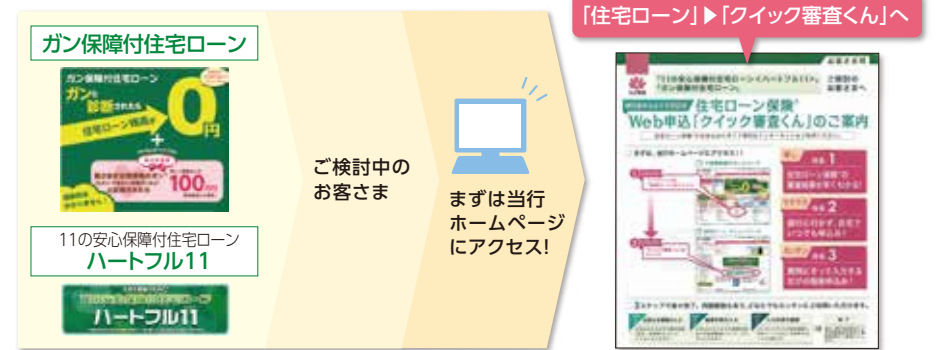
※機能サービスの詳細については、当行HP(「各種商品・サービス」⇒「ちば興銀ダイレクト」)をご参照ください。

WEBサービス

住宅ローン団信Web申込「クイック審査くん」

当行で取扱中の「ガン保障付住宅ローン」「11の安心保障付住宅ローン<ハートフル11>」をお申込みいただく際、団体信用生命保険のお申込み(事前査定を含む)が、ご自宅からお手続きいただけるようになりました。

インターネットの専用サイト「クイック審査くん」へアクセスいただくことで、お客さまはご来店が不要になり、告知書への記入等の手間と時間が削減できます。



「年金相談会」・「休日お客さま相談会」のWEB予約サービス

「年金相談会」、「休日お客さま相談会」のご予約がWEBにて可能となりました。(電話受付も可能です。)

お近くのちば興銀各支店で、ご来店をお待ちしております。

当行
ホームページ
から
こちらを
クリック!



「年金相談会」(相談無料・予約制)	ちば興銀の各支店で公的年金のお受け取り等に関するご質問に、社会保険労務士が個別相談でお応えします。
「休日お客さま相談会」(相談無料)	「平日は忙しくて…」というお客さまの声にお応えして、休日に住宅ローンや資産運用のご相談を承ります。

お客さまにとってより便利にインターネットをご利用いただくために、
今後も更なる内容の充実を図ってまいります。

さらにご利用いただきやすい店舗へ

真砂支店・移転開店

新店舗はJR京葉線検見川駅北口のイズミヤ検見川浜店1階にあり、今回の移転で真砂支店はインスタブランチ型の店舗になりました。

個別相談ブースや全自動貸金庫、多目的に利用可能な小型セミナールームを設置したほか、駐車場も共同利用で約300台が利用可能なため、より多くのお客さまにご利用いただきやすい店舗となりました。



船堀法人事務所・新設

当行初めての法人事務所を東京都江戸川区船堀に新設しました。

千葉県と近接する東京都東部(江戸川区・葛飾区・江東区等)は、当行が営業基盤とする千葉県と経済的・商流的なつながりが深く、この地域においても当行が持つコンサルティング機能を発揮し、多くの中小企業のお客さまの成長持続を支援するとともに、当行の営業基盤・顧客基盤の一層の拡大を図ってまいります。



六実支店・リニューアル

平成27年5月に新店舗で営業を開始いたしました。新店舗は旧店舗の隣地となります。

夜21時まで利用可能な全自動貸金庫(365日稼動)や、個別相談ブースなどを設けており、これまで以上に利用しやすい店舗となりました。

8月中旬を目処に、駐車場を店舗前面に集約し、さらにお客さまの利便性向上を図ります。



「車いす」設置と「サービスケアサポーター」の配置

ご高齢のお客さまやお身体の不自由なお客さまにご利用いただくため、現在県内22店舗に車いすを設置しており、平成27年度上期にはさらに24店舗の設置を予定しております。

また、車いす設置店舗には、サービスケアサポーター講座(*)を受講・修了したサービスケアサポーターが配置されております。

(*)「サービスケアサポーター講座」：一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会が実施する「高齢者等理解・体験・安全マネジメント研修」の略称



「普通救命講習」の実施

緊急事態に遭遇したとき、適切な応急手当ができるよう、その実現性を高めるために、全営業店約140名が「普通救命講習」を受講しております。

これからもご来店いただくお客さまが安心して利用できる銀行をめざして取り組んでまいります。



「認知症サポーター」の全店への配置

全営業店の業務課行員・スタッフが、自治体を通じて派遣される講師のもと、認知症サポーター養成講座を受講しております。

認知症について正しく理解し、適切な対応を身につけ、認知症の方やご家族を見守り、支援するサポーターとして、全営業店に認知症サポーター953名を配置しております。



ATM物置台の全店設置

お客さまの利便性向上のため、全営業店にATM物置台を設置しました。

手荷物をお持ちのお客さまがATMをご利用される場合、ATMを円滑に操作いただけます。

また、手荷物を正面に置くことにより、置き忘れや盗難を防止する効果も期待されます。



当行はこれからもより多くのお客さまにご来店いただけるよう、
便利でやさしい店づくりをすすめてまいります。

ちば興銀コスモスコンサート



地域の皆さまにクラシック音楽や映画音楽などを間近で親しんでいただけるよう、そごう千葉店前JR連結口広場にて、ミニコンサートを21年連続で開催しております。



文化スポーツ活動

各種スポーツ大会・文化活動への貢献



当行と千葉県ゲートボール連盟との共催による「千葉興業銀行杯親善ゲートボール大会」を、25年連続で開催しております。平成26年11月開催の大会では、県内ゲートボール愛好家43チーム241名の方にご参加いただきました。

そのほか、千葉県体育協会や千葉県障がい者スポーツレクリエーション協会、千葉県文化振興財団等への協賛・協力も行っております。

ちば興銀コスモスセミナー



「千葉県に関する知識・情報をお客さまと共有する」をコンセプトに無料公開講座を毎年開催しております。第17回は「幕末期下総の博徒たち」をテーマに開催し、76名のお客さまが受講されました。



社会奉仕活動

環境美化活動の実施



春の県下一斉ゴミゼロ運動に行員・スタッフおよびその家族がボランティア参加しております。（全部室店参加総数約1,000名）。また、国道14号・357号沿線の12企業・団体で組織される「国道をきれいにする会」に参加し、毎月沿道の清掃を実施しております。

ちば興銀の森



塩害や松くい虫などの影響により壊滅状態にある匝瑳市新堀海岸県有林の再生を目指して、平成26年4月より「ちば興銀の森」活動を開始し、5年間で5,000本のクロマツ・マサキ・トベラ等の植栽と草刈などによる海岸保安林再生活動を展開しております。



環境への取組み



「小さな親切」運動の推進



当行は、33都道府県が参加する全国的組織「小さな親切」運動の千葉県本部として、県内の運動推進をお手伝いしております。

当行行員は全員「小さな親切」運動に会員登録しており、地域のボランティア活動や寄付・募金活動等に取組んでおります。

スポークライトの贈呈



当行と千葉日報社が共同で設立した「コスモス交通安全協会」より、交通事故撲滅の願いをこめて、県内新中学1年生へスポークライト（自転車事故防止用反射板）を毎年贈呈しております。（21年間で延べ248,400個）

第93期末(平成27年3月31日現在)貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
現金預け金	62,588	預 金	2,277,744
現 金	25,790	当 座 預 金	52,119
預 け 金	36,798	普 通 預 金	1,133,876
買入金銭債権	747	貯 蓄 預 金	26,973
商品有価証券	128	通 知 預 金	4,837
商品国債	1	定 期 預 金	1,043,168
商品地方債	127	定 期 積 金	5
有価証券	553,768	その他の預金	16,763
国 債	132,153	譲 渡 性 預 金	12,200
地 方 債	58,069	コ ー ル マ ネ ー	2,405
社 債	194,855	借 用 金	24,449
株 式	33,974	借 入 金	24,449
その他の証券	134,715	外 国 為 替	13
貸 出 金	1,824,831	外国他店預り	10
割 引 手 形	7,460	売 渡 外 国 為 替	2
手 形 貸 付	67,333	そ の 他 負 債	14,682
証 書 貸 付	1,595,752	未 払 法 人 税 等	4
当 座 貸 越	154,284	未 払 費 用	1,852
外 国 為 替	3,232	前 受 収 益	1,212
外国他店預け	2,178	給付補填備金	0
買入外国為替	1,029	金融派生商品	1,001
取立外国為替	24	金融商品等受入担保金	231
その他の資産	7,236	リ ー ス 債 務	1,377
未 収 収 益	2,019	その他の負債	9,001
先物取引差入証拠金	9	退職給付引当金	6,390
金融派生商品	1,057	睡眠預金払戻損失引当金	1,016
金融商品等差入担保金	3	支 払 承 諾	13,699
その他の資産	4,147	負債の部合計	2,352,600
有形固定資産	19,791	(純資産の部)	
建 物	6,458	資 本 金	57,941
土 地	10,934	資 本 剰 余 金	2,792
リ ー ス 資 産	1,377	資 本 準 備 金	2,792
建設仮勘定	7	利 益 剰 余 金	55,264
その他の有形固定資産	1,012	利 益 準 備 金	4,077
無形固定資産	2,072	その他利益剰余金	51,186
ソフトウエア	1,685	繰越利益剰余金	51,186
その他の無形固定資産	386	自 己 株 式	△68
繰延税金資産	7,754	株主資本合計	115,930
支払承認見返	13,699	その他の有価証券評価差額金	17,410
貸倒引当金	△9,892	評価・換算差額等合計	17,410
資産の部合計	2,485,957	新株予約権	15
		純資産の部合計	133,356
		負債及び純資産の部合計	2,485,957

第93期(平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)株主資本等変動計算書

(単位:百万円)

	株 主 資 本							自己株式	株主資本合計	その他の有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	新株予約権	純資産合計
	資本金	資本準備金	資本剰余金	その他の資本剰余金合計	利益準備金	その他の利益剰余金	利益剰余金合計						
当期首残高	57,941	2,792	1,773	4,566	3,636	48,491	52,128	△66	114,570	7,347	7,347	—	121,917
会計方針の変更による累積的影響額						238	238		238				238
会計方針の変更を反映した当期首残高	57,941	2,792	1,773	4,566	3,636	48,730	52,366	△66	114,808	7,347	7,347	—	122,156
当期変動額													
剰余金の配当					440	△2,645	△2,204		△2,204				△2,204
当期純利益						8,385	8,385		8,385				8,442
自己株式の取得								△5,059	△5,059				△5,059
自己株式の消却								5,056	—				—
利益剰余金から資本剰余金への振替			△5,056	△5,056				—	—				—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)			3,283	3,283		△3,283	△3,283		—				—
当期変動額合計	—	—	△1,773	△1,773	440	2,456	2,897	△2	1,121	10,062	10,062	15	11,200
当期末残高	57,941	2,792	—	2,792	4,077	51,186	55,264	△68	115,930	17,410	17,410	15	133,356

第93期(平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)損益計算書

(単位:百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
経 常 収 益	44,383	経 常 費 用	31,943
資金運用収益	30,868	資金調達費用	1,232
貸出金利息	24,829	預 金 利 息	1,082
有価証券利息配当金	5,545	譲渡性預金利息	20
コールローン利息	50	コールマネー利息	2
預け金利息	223	債券貸借取引支払利息	10
その他の受入利息	219	借 用 金 利 息	102
役務取引等収益	8,981	その他の支払利息	14
受入為替手数料	1,750	役務取引等費用	3,702
その他の役務収益	7,230	支払為替手数料	352
その他業務収益	987	その他の役務費用	3,349
外国為替売買益	450	その他業務費用	246
商品有価証券売買益	1	国債等債券売却損	17
国債等債券売却益	304	国債等債券償還損	228
金融派生商品収益	231	営 業 経 費	25,398
その他経常収益	3,546	その他経常費用	1,362
貸倒引当金戻入益	81	貸 出 金 償 却	551
償却債権取立益	1,727	株式等売却損	90
株式等売却益	867	株 式 等 償 却	0
その他の経常収益	869	その他の経常費用	720
経 常 利 益	12,440		
特 別 損 失	117		
固定資産処分損	60		
減 損 損 失	56		
税引前当期純利益	12,322		
法人税、住民税及び事業税	60		
法人税等調整額	3,877		
法人税等合計	3,937		
当 期 純 利 益	8,385		

第93期末(平成27年3月31日現在)連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
現金預け金	62,590	預 金	2,269,118
買入金銭債権	747	譲 渡 性 預 金	12,200
商品有価証券	128	コールマネー及び売渡手形	2,405
有 価 証 券	553,652	借 用 金	37,821
貸 出 金	1,822,154	外 国 為 替	13
外 国 為 替	3,232	そ の 他 負 債	20,118
そ の 他 資 産	28,991	退職給付に係る負債	6,999
有形固定資産	19,799	役員退職慰労引当金	56
建 物	6,485	睡眠預金払戻損失引当金	1,016
土 地	10,934	支 払 承 諾	13,702
リ ー ス 資 産	39	負債の部合計	2,363,451
建設仮勘定	7	(純資産の部)	
その他の有形固定資産	2,332	資 本 金	57,941
無形固定資産	2,469	資 本 剰 余 金	2,792
ソフトウエア	2,043	利 益 剰 余 金	59,011
リ ー ス 資 産	37	自 己 株 式	△69
その他の無形固定資産	389	株主資本合計	119,677
繰延税金資産	8,098	その他の有価証券評価差額金	17,433
支払承認見返	13,702	退職給付に係る調整累計額	△301
貸倒引当金	△12,847	その他の包括利益累計額合計	17,131
資産の部合計	2,502,720	新株予約権	15
		少 数 株 主 持 分	2,444
		純資産の部合計	139,269
		負債及び純資産の部合計	2,502,720

第93期(平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)連結株主資本等変動計算書

(単位:百万円)

	株 主 資 本					その他の包括利益累計額			株 新 予 約 権	少 数 株 主 持 分	純 資 産 合 計
	資 本 金	資 本 剰 余 金	利 益 剰 余 金	自 己 株 式	株 主 資 本 合 計	そ の 他 に 有 価 証 券 評 価 差 額 金	退 給 給 付 に 係 る 調 整 累 計 額 金	そ の 他 の 包 括 利 益 累 計 額 合 計			
当 期 首 残 高	57,941	4,566	55,819	△ 66	118,260	7,363	△ 1,251	6,112	－	2,120	126,493
会計方針の変更による累積的影響額			238		238						238
会計方針の変更を反映した当期首残高	57,941	4,566	56,057	△ 66	118,499	7,363	△ 1,251	6,112	－	2,120	126,732
当 期 変 動 額											
剰 余 金 の 配 当			△ 2,204		△ 2,204						△ 2,204
当 期 純 利 益			8,442		8,442						8,442
自 己 株 式 の 取 得				△ 5,059	△ 5,059						△ 5,059
自 己 株 式 の 消 却		△ 5,056		5,056	－						－
利益剰余金から資本剰余金への振替		3,283	△ 3,283		－						－
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						10,069	949	11,019	15	324	11,359
当 期 変 動 額 合 計	－	△ 1,773	2,953	△ 2	1,177	10,069	949	11,019	15	324	12,537
当 期 末 残 高	57,941	2,792	59,011	△ 69	119,677	17,433	△ 301	17,131	15	2,444	139,269

格付け

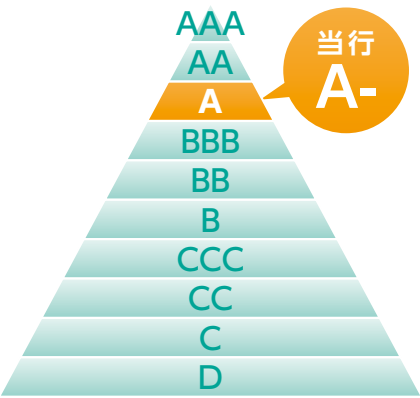
当行は、中立的な第三者による評価を取得し公表することで、投資家の皆さまやお取引先の皆さまに財務内容の健全性や収益性などについてご理解いただくため、平成18年10月に株式会社日本格付研究所(JCR)から長期発行体格付^(※1)を取得し公表しております。

格付け [A-(シングルAマイナス)]
[1ノッチ引き上げ]

格付け見通し [安定的]
[据え置き]

(格付けの公表:平成26年8月28日)

(※1) 長期発行体格付:債務者(発行体)の債務全体を包括的に捉え、その債務履行能力を評価したものです。



利益配分に関する基本方針

当行は、銀行業としての公共性に鑑み、健全経営を確保するため内部留保の充実を図るとともに、安定的な配当に努めていくことを基本方針としております。

普通株式の配当 当期の普通株式の配当につきましては、1株当たり3円の配当をいたしたいと存じます。

優先株式の配当 当期の優先株式の配当につきましては、所定の配当をいたしたいと存じます。

株主優待制度の拡充

日頃のご支援に感謝の意をこめて、ご優待制度の拡充に努めております。
平成27年3月31日現在で、千葉興業銀行の株式を100株以上所有されている個人・法人の株主さまを対象に「株主優待定期預金」の制度を引続きお取扱いいたします。
「さわやかハロー24」^(※2)ともども、ご利用いただけますようお願い申し上げます。

(※2) 「さわやかハロー24」:当行の株主さまに無料で、健康や医療に関するご相談をベテランの医師などが電話でお受けするサービスです。健康・医療相談のほか、夜間・休日診療の医療機関ご案内、医療機関情報のご提供、介護などシルバー情報のご提供についてご利用いただけます。

役員 (平成27年6月25日現在)

取締役頭取・CEO	青柳 俊一	常勤監査役	稲葉 保実
取締役副頭取・COO	梅村 星児	常勤監査役	松井 一登
専務取締役・専務執行役員	星野 智史	監査役	鈴木 伸弥
常務取締役・常務執行役員	岡本 繁雄	監査役	五日市 喬弘
取締役	戸谷 久子		

(注) 取締役戸谷久子氏、監査役鈴木伸弥氏および五日市喬弘氏は、東京証券取引所有価証券上場規程第436条の2にいう独立役員であります。

株式の状況 (平成27年3月31日現在)

株式の種類	発行可能株式総数	発行済株式の総数
普通株式	296,000千株	50,722千株
第二回第二種優先株式	5,000千株	5,000千株
第四回第四種優先株式	7,500千株	6,400千株

(注) 株式数は、千株未満を切り捨てて表示しております。

3 大株主

株式の種類	株主の氏名又は名称	当行への出資状況 持株数等 (千株)	持株比率 (%)
普通株式	株式会社みずほ銀行	9,583	18.91
	日本トラスティサービス信託銀行株式会社(信託口)	1,254	2.47
	坂本飼料株式会社	1,249	2.46
	明治安田生命保険相互会社	1,158	2.28
	損害保険ジャパン日本興亜株式会社	942	1.85
	みずほ信託銀行株式会社	926	1.82
	日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	897	1.77
	千葉興業銀行行員持株会	793	1.56
	日本トラスティサービス信託銀行株式会社(信託口9)	744	1.46
	日本トラスティサービス信託銀行株式会社(信託口4)	681	1.34
第二回第二種優先株式	株式会社みずほ銀行	5,000	100.00

2 株主数	
普通株式	10,395名
第二回第二種優先株式	1名
第四回第四種優先株式	165名

株式の種類	株主の氏名又は名称	当行への出資状況 持株数等 (千株)	持株比率 (%)
第四回第四種優先株式	沖電気工業株式会社	300	4.68
	大成建設株式会社	300	4.68
	東京建物株式会社	300	4.68
	丸紅株式会社	300	4.68
	キッコーマン株式会社	200	3.12
	明治安田生命保険相互会社	200	3.12
	安田不動産株式会社	200	3.12
	株式会社ヤクルト本社	180	2.81
	株式会社フレックス	160	2.50
	芙蓉総合リース株式会社	160	2.50

(注) 1. 持株数は千株未満を切り捨てて表示しております。
2. 持株比率は小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。
3. 普通株式の持株比率は自己株式(60,808株)を控除して、算出しております。

株式のご案内

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 配当受領株主確定日 期末配当:毎年3月31日
中間配当:毎年9月30日
- 定時株主総会 毎事業年度終了後3か月以内に開催
- 基準日 定時株主総会については、毎年3月31日
その他必要あるときはあらかじめ公告する一定の日
- 単元株式数 100株
- 公告方法 電子公告
(当行ホームページ
<http://www.chibakogyo-bank.co.jp/>)
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

- 単元未満株式の買取請求について
単元未満株式をご所有の場合、その単元未満株式を当社が買い取らせていただく制度(買取制度)がございますので、どうぞご利用ください。
特別口座に記録された株式の買取請求については、下記株主名簿管理人(特別口座管理機関)において受付けております。また、証券会社等の口座に記録された株式の買取請求については、お取引の証券会社等にお問い合わせください。

- 特別口座株式のご売却について
特別口座にて管理されている単元株式を売却されるには、事前に証券会社等の口座を開設し、その後振替手続を行っていただく必要があります。お手続き等の詳細は下記株主名簿管理人(特別口座管理機関)にお問い合わせください。

株主名簿管理人(特別口座管理機関)
みずほ信託銀行株式会社
■ お問い合わせ先(郵便物送付先)
〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-288-324

- 株式事務取扱場所
株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社
本店 証券代行部

株主様のご住所・お名前等を使用する文字に関してのご案内

株券電子化実施に伴い、株主様のご住所・お名前等の文字に、株式会社証券保管振替機構(ほふり)が振替制度で指定していない漢字等(いわゆる「外字」)が含まれている場合は、その全部または一部をほふりが指定した文字またはカタカナに変換して、株主名簿に記録いたしております。
このため、株主様にご送付する通知物の宛先が、ほふりが指定した文字に置き換えられる場合がありますのでご了承ください。
株主様のご住所・お名前等として記録されている文字については、お取引の証券会社等にお問い合わせください。

企業理念

——地域とともに——

私たちは、地域とともに歩む銀行として、人々の幸せを求めて、豊かなふるさとづくりに努めます。

——お客さまのために——

私たちは、積極的にお客さまのニーズに応え、創造性を発揮し、より質の高いサービスの提供に努めます。

——「親切」の心で——

私たちは、心のふれあいを大切にし、自己を磨き、親切ナンバーワンをめざします。



千葉興業銀行

〒261-0001

千葉市美浜区幸町二丁目1番2号

TEL.043-243-2111

<http://www.chibakogyo-bank.co.jp/>